

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報(カルテの情報)をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>研究の名称 思春期特発性側弯症手術中の高用量レミフェンタニルと術後痛覚過敏との関連性：後ろ向き観察研究</p> <p>研究の対象 2010年～2019年6月に当院で脊椎側弯症の手術を実施し、集中治療部に入室した20歳未満の患者様</p> <p>研究の目的 レミフェンタニルは超短時間作用型の麻薬で、手術中に投与することで確実な鎮痛が可能です。しかし近年、高用量レミフェンタニルは痛覚過敏を誘発する可能性が報告されてきました。思春期特発性側弯症は18歳以下におこる脊椎側弯症であり、手術中に脊髄モニターを使用するため麻酔方法が限定され、さらに若年者であるため高用量のレミフェンタニルが必要です。しかし側弯症手術中のレミフェンタニルが術後に痛覚過敏を本当に誘発しているかどうか、調べた研究は存在しません。本研究では高用量レミフェンタニルが集中治療室での鎮痛薬使用量を増加するか調査し、更に痛覚過敏を起こさないレミフェンタニルの最適な投与量を明らかにすることを目的とします。</p> <p>研究の期間 倫理委員会承認日から2022年8月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 統計専門家にデータチェックを依頼しますが、個人を特定する情報は削除してあります。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報： 手術中の麻酔記録、集中治療部データベース、電子カルテに掲載されている情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	況、カルテ番号 等
利用する者の範囲	共同研究機関の名称及び研究責任者 なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者 浜松医科大学 医学部附属病院 集中治療部 診療助教 青木善孝
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：集中治療部（麻酔科） 担当者：青木善孝 TEL：053-435-2286（麻酔科代表） E-mail：ysyaoki27@gmail.com